

# ボート免許取得で遊びの可能性を広げる!! NTPボートライセンススクールで2級免許取得にチャレンジ!!



今回はモデルの中田美由紀ちゃんと仁枝拳二君の若い二人がボート免許取得にチャレンジした。そんな好奇心旺盛な2人が実際に免許を取得するまでの道程を取材し、免許を取得する事で上げられる海遊びの可能性についても紹介していこうと思う。また、若い2人でも意外とトントン拍子にボート免許って取れてしまうという事も合わせて知って頂ければと思う。今回2人がチャレンジしたのは「NTPボートライセン

スクール」。このスクールはNTPマリーナりんくうとNTPマリーナ高浜で開催されており、中部エリアでも高い申込率と合格率を誇る人気スクールだ。また、受講生の数と合格率が一定基準を満たさないと認定されない優良教習所としても認定されており、安心して免許を取得出来るカリキュラムが準備されている。今回2人がチャレンジする2級小型船舶操縦士免許を取得する際の標準的なコースをご紹介します、



二人とも無事合格しました!!



やっぱり自分でボートを操船するのが1番楽しい!!



## 免許を取ったらどうすれば良いの?

免許を取得した後は直ぐにマイボートを購入したくなるものだが、誰もがいきなりボートを購入する事は難しい。そして自分の遊びのスタイルを確立する前では、自分にどんなボートが合っているのかさっぱり分からない。そんな時に活用して欲しいのが、会員制のNTPレンタルボートクラブだ。入会金2万円(税別)、年会費1万円(税別)というリーズナブルな価格設定で平日の半日利用であれば9千円(税別)からレンタルボートを利用する事が出来るのである。ここで自分に合った遊び方を見つけてみるのも面白いと思う。他にもNTPマリクラブへ入会する事でオーナー感覚でマリライフを楽しむ事が出来たり、オーナー同様に施設の利用やオーナーイベントへの参加、会員同士の交流会といった集まりにも参加する事が出来るのだ。こうした経験を重ねる段階で、海遊びの経験豊富なスタッフにボートの相談や質問をどんどんしても良いだろう。きっとこれまでの遊び方や予算を判断した上で、最適なボートを薦めてもらえることだろう。

取材協力: NTPマリーナりんくう 愛知県常滑市りんくう町3丁目6番地の1 TEL (0569) 85-7200 URL [www.ntp.co.jp/marina/](http://www.ntp.co.jp/marina/)



学科講習は覚える事は多いが重要な事項は分かり易く丁寧に説明してもらえるため安心だ。また、講師も試験に出そうなポイントを熟知しており、大事なポイントをしっかりと押さえる事が出来る。ロープワークは講習会場でもレクチャーしてくれ、ここでは納得するまで何度も行い体に覚えさせる事が大切だ。実技講習では試験の流れを説明してもらえるので、試験当日のイメージも湧き易い。最初は慌てる事もあるだろうが、経験豊富な講師が不安をしっかりと取り除いてくれる。



国家試験では厳正な審査が行われるが、事前の準備をしっかりと行う事で落ち着いて取り組める。若干の緊張は仕方ないので、ここでは落ち着いて練習の成果を発揮する事が大切だ。ボート免許を取得出来れば、休日の楽しみ方もきっと変わる。ボートオーナーとしてマリーナに戻れるなら格別な体験となるだろう。

学科講習と実技講習をそれぞれ1日ずつ受講し、その後国家試験を1日で受けるという内容だ。スクールでは経験豊富な講師によって試験のポイントや押さえておきたいコツも要領良く学ぶ事が出来る。また、分かり易い学科講習は2人にも好評で、とてもリラックスした状態で次々と内容を理解して学科講習は非常にスムーズに行われていった。そして、実技講習では教習艇として使用したのはなんと、トヨタポナム26L。実技講習の段階から26フィートのボートで練習する事が出来るので、操船スキルを高められるとともに、免許取得後も同じようなサイズのボートであれば違和感なく操船出来るスキルまで身に付けさせてくれるのだ。また、講師が国家試験で行われるであろう試験を想定して的確な実技指導してくれるので、当日のイメージを想定しながら充実した実技講習の時間を過ごす事も出来る。次に、ここで講習を受けることで生まれるメリットもいくつかあるのでご紹介していこうと思う。実技と

学科の講習を受けるNTPマリーナりんくうと高浜の両マリーナは定期的に国家試験の試験会場にもなっており、自分の受けたマリーナで開催される試験日を選択して国家試験を受ける事で、本番も練習と同じ環境で試験を受ける事が出来る。更にその際は今回実技講習でも使用したポナム26Lを試験艇として使用する事になるので、本番も練習の時のように落ち着いて試験を受けられる。まさに『ホーム』の環境で本番を迎えられるメリットはこのように少なくはないのだ。今回試験を受けた2人は最初の講習から12日後に行われた国家試験を受けており、期間的にも長期という言葉は当てはまらないだろう。まさにトントン拍子に免許取得を可能にしており、これは今年海を楽しむのに今からでも全然遅くはないという事を意味している。この夏は自分の手でハンドルを握り、家族や仲間を連れて、大海原に繰り出して欲しいと思う。きっといつもとは違う魅力的な休日の思い出が沢山出来る事だろう。